

日本人を知れば、もっと暮らしやすくなる！

市営住宅 暮らしの作法

～2つのポイントと10のルール～



日本人の、心に触れて、
快適な生活を楽しむ。



●ようこそ、伝統と文化のまち金沢へ！

生活様式は人それぞれ。でも、その土地に住む人々の考え方や習慣、質を理解することで、皆様も暮らしやすくなり、また生活は快適で有意義なものになります。私たちはこの「市営住宅 暮らしの作法」を通じて、皆様が少しでも日本を理解し、日本人の心に触れることで、地域の日本人住民との交流を通じて、皆様の金沢での生活が楽しく思い出深いものになることを願っています。

日本人の
気質

和の精神

控えめ

1. 日本人の気質を知っておこう

Point1 控えめな日本人

よく日本人は「控えめ」で「大人しい」性格と言われますが、それは日本人が大切にしている「和の精神」から来ています。日本では、昔から周囲との協調性を大切にし、自分の意志を押し殺してでも相手や周りの人に合わせようと努力します。また、他人と違う言動で周りから笑われることを恥ずかしいことと考え、周囲の状況を伺いながら行動する習慣が身についているのです。

●声をひそめて会話する？

日本人は公共の場所では特に大人しく静かに見えます。元来、外国人に比べると、日本人は日本語という抑揚の少ない言語を話す上に、周囲に気を使って、小さい声で話す傾向があります。ですから、隣りで大声で話されたりすると、日本人はびっくりします。少し声を落として話すのが日本ではちょうどよいかもしれません。生活する上で注意しなければならないのは、生活音です。市営住宅の壁や床は薄いものもあり、生活で生じる音を騒音として感じる方との間で問題になる場合があります。

●外国人と接するのが苦手？

日本人、特に金沢の人は恥ずかしがりであると言われます。ですから、外国人と話すことにも慣れていません。ですので、地域で快適に楽しく生活するためにカタコトでも良いので、ぜひ日本語を勉強して近所の日本人に自分の名前やどんなことをしているかなど、簡単なあいさつを試みましょう。近所の人と顔見知りになることは大切ですし、地域のいろいろな情報も教えてもらえるかもしれません。



Point2 和の心

狭い島国で共存するための知恵として、日本人は昔から和の精神を何よりも大切にし、個人よりも社会や集団に重きをおいてきました。そして、集団行動で一番大切なのがルールやマナーを守ることです。地域や学校での生活だけではなく旅行の際にも「郷に入れば郷に従え」のことわざを守り、その土地のルールや習慣を尊重するのもそうした背景があるからかもしれません。

●ルールやマナーはみんなで守ろう！

規律を守り、他人に迷惑をかけたくないという気持ちが強い日本人は、生活に関連するさまざまなルールを、法律で決まっているからという理由以前に、地域で生活する上でのマナーや常識として守ることを大切にしています。

●みんなの時間を守ろう

集団行動で日本人が特にうるさいのが時間です。時間に正確で、何事も計画通りに物事を進める日本人にとって、スケジュールが狂うことは我慢できないことなのです。

●町会とは？

日本では一般的にどのまちでも町会などと呼ばれる住民組織があります。特に金沢では、多くの市民が町会に加入し各町会で活発な活動をしています。町会は、住民自身による自治組織で、会員の会費等の収入で自主的に運営されています。町会では回覧板(役所などからのお知らせを隣の家に戻す連絡板)を回したり、ごみステーションの管理や、地域の清掃活動のほか、お祭りなど住民同士の交流活動をしています。交流、助け合いの場になりますので、ぜひ積極的に町会行事に加わりましょう。



2. 快適な生活のために知っておこう

【基本：日本の住宅について】

住宅の広さは、部屋のほか、トイレ、風呂、台所などを含めた、「専有面積～㎡」であらわします。部屋の広さは、床に敷く畳の数で表し、畳1枚の広さを1畳(じょう)と呼びます。

また、部屋の数とその部屋がどういう部屋なのかは数字とアルファベットで表し、部屋のタイプは床が畳の部屋は「和室」、床が板などの部屋は「洋室」と表します。

[例えば・・・]

3LDK・・・独立した部屋3つと、
居間、食堂、台所の兼用部屋1つ

3・・・部屋の数

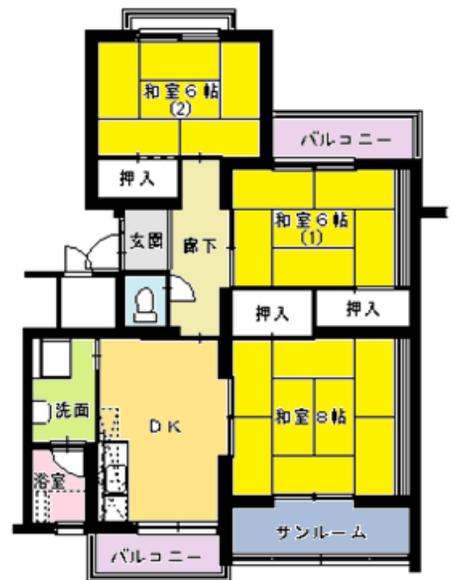
L・・・居間(Living)

D・・・食堂(Dining)

K・・・台所(Kitchen)

LDK・・・居間、食堂、台所の兼用部屋

DK・・・食堂と台所の兼用部屋



3DK

※掲載の間取りは一例

●コラム：地方によって違う畳のサイズ？

畳のサイズは、実は地方によって様々です。金沢では、176.0cm×88cmの江戸間と呼ばれるサイズが最も一般的で、静岡以東の地域や大手住宅メーカーが採用しています。一方で、それ以外の地方には、関西で多い京間、愛知で多い中京間などがあります。地方によってサイズが異なるのは、歴史的な経緯があるのですが、興味があれば、ぜひ調べてみては？ちなみに、畳のサイズは、東に行くほど小さくなります。

京間＞中京間＞江戸間



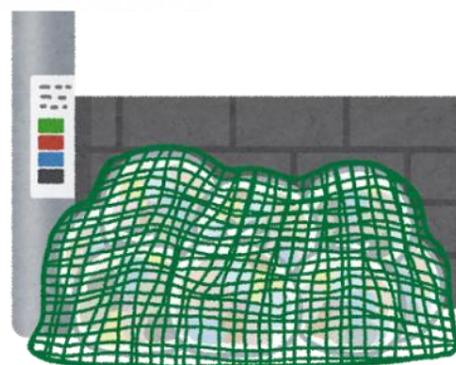
2. 快適な生活のために知っておこう

①生活のルール・マナー:ゴミの出し方

日本では、ゴミは自治体が回収しますが、ゴミの出し方は自治体によって異なり、しかも、ゴミは種類ごとに、出す曜日と時間が細かく決まっています。また、粗大ゴミや処理がむずかしい物の中には有料であったり、収集してくれないものもあります。金沢市では「家庭ごみ分け方・出し方」パンフレット(下記ウェブサイトに掲載)を多言語で発行していますので、よく確認しておきましょう。また金沢市では、ゴミを捨てるための場所(ごみステーション)は地域の住民で構成される町会が管理しています。きちんと分別されていないゴミは収集されずに町会が処理することになり、近隣トラブルの原因になります。

【注意しよう！】

- ・近隣トラブルの原因になるので、
ごみはきちんと分別しましょう。
(例:プラスチック類は右記マークがあれば、
資源回収、なければ燃やすごみ)
- ・ゴミとして捨てられたものでも持ち帰ると
窃盗罪にあたりますので注意しましょう。



金沢市「家庭ごみ分け方・出し方」

http://www4.city.kanazawa.lg.jp/25003/recycle/about_gomi/index_gomi.html

金沢市役所ウェブサイト⇒[環境・まちづくり]⇒[環境・ごみ・リサイクル]⇒
[ごみ収集・リサイクル]⇒パンフレット(日本語版)

詳細問い合わせ:リサイクル推進課

TEL: 076-220-2302

Mail: recycle@city.kanazawa.lg.jp

②生活のルール・マナー：生活騒音

日本の住宅は壁や床が薄いため、騒音が伝わりやすいという特徴があります。市営住宅でも、上下階の物音に関する騒音トラブルが多く発生しています。苦情原因となる生活音をどの程度わずらわしいと感じるかは人それぞれですが、夜はまわりが静かになるため、小さな音でも大きく感じます。特に夜間から早朝にかけては音が漏れないように工夫するとともに、日常的に大きな音を出さないよう注意することが大切です。

【注意しよう！】

夜間、早朝は控えましょう。

・パーティー

・掃除機や、洗濯機の音

夜間、早朝は気を付けましょう。

・テレビ、ラジオ、CDプレイヤーの音量

日頃から気を付けましょう。

・大声の会話(なるべく大声にならないように)

・ドアの開け閉めの音(ドアノブをつかんだまま静かに開閉)

・足音(室内では音の出にくい履物を)



●コラム

一般的に、高齢者には早寝早起きの人が多いと言われますが、政府の調査によれば、65歳以上の高齢者の約27%が夜9時に就寝し、約50%の人が朝6時には起床するようです。一方で、25～34歳の若年層では、夜9時に就寝する人は約5パーセントにすぎず、約70%の人が朝6時にはまだ就寝中であることがわかっています。(平成23年社会生活基本調査)



③生活習慣：台所の使い方

流し台の排水口に、ごみや油を流さないようにしましょう。排水管が詰まる原因になりますし、川や海が汚れる原因にもなります。

【注意しよう！】

- ・生ごみは、水切りをしてビニール袋に入れ、燃やすごみとして捨てましょう。
- ・油は紙や布に吸い込ませて、燃やすごみとして捨てましょう。



④生活習慣：風呂

ほとんどの日本の家庭では風呂＝バスルームは、湯船(バスタブ)と洗い場に分かれています。洗い場でよく体や髪を洗ったあと、ゆっくりバスタブにつかってリラックスできるようになっています。風呂場の排水管が詰まると、水があふれて大変なことになります。下の階の住宅に被害が出たときには、弁償しなければならないこともあります。また日本は湿気が多く、バスルームにカビなどが生えやすくなり異臭の原因になりますので、換気をしてこまめに掃除しましょう。

【注意しよう！】

- ・排水管が詰まらないよう、髪の毛などを流さないようにしましょう。
- ・湿気が多くカビが生えやすいので、こまめな掃除と換気をしましょう。



⑤生活習慣：トイレ

きれい好きの日本人はトイレを清潔に使います。トイレの排水管が詰まると、水があふれて大変なことになります。下の階の住宅に被害が出たときには、弁償しなければならないこともあります。日本のトイレトーパーは水溶性で水に溶けますが、ティッシュペーパーなどは水に溶けませんので、トイレトーパー以外の紙はトイレに流さないでください。

【注意しよう！】

- ・風呂やトイレの排水管が詰まると水があふれ出てしまいます。
- ・排泄物とトイレトーパー以外のものは絶対にトイレに流してはいけません。
(ティッシュペーパーや生理用ナプキンも流してはいけません)



⑥生活習慣：室内（靴・畳）

日本の一般家庭では、家の中に入るときは、玄関で靴を脱ぎます。靴を履いたままだと床が汚れますし、音も響くので騒音の原因になってしまいます。また家の中ではスリッパなどの室内履きを履く人もいますが、畳の部屋では何も履きません。畳の手入れは、掃除機やほうきで定期的に掃除し、ときどきかたく絞った雑巾でふくのがよいでしょう。

⑦バルコニー・ベランダの使い方

バルコニーが緊急時の脱出用として使われている場合は、脱出口をふさがないようにすると同時に、避難用の隣の部屋との壁などの前には物などを置かないようにします。また、バルコニーで布団などを干すときや、鉢植えなどの植物を育てるときは、それらがバルコニーから落ちないように気をつけましょう。

【注意しよう！】

- ・布団や植木鉢が落ちないように注意しましょう。

⑧共用部分の使い方

自分の部屋以外の廊下や階段はみんなで使う共有部分です。地震や火事があったときなど緊急のときには、避難通路にもなるので、自分の荷物を置いてはいけません。

⑨自転車置き場・駐車場の使い方

自転車は自転車置き場などの決められた場所に、きちんと並べておきます。また、車(自動車)は必ず駐車場を借りる必要があります。路上駐車はしてはいけません。駐車場は有料です。毎月駐車場代を支払わなければなりませんから、空いているからといって、自分が借りている駐車場以外へ駐車してはいけません。

⑩相互理解のために:まちの日本語教室

一般的に日本人は控えめな気質もあり外国人と話すことに慣れていません。しかし日本語で話しかければ、きっと心を開いていろいろ教えてくれるでしょう。市内の大桑地区、田上地区では、留学生やその家族に対して日本語教室を開催しています。日本の文化や習慣についてボランティアの方々と交流しながら学びましょう。

●まちの日本語教室

開催日時:

(大桑地区) 毎月第2、4土曜日 11:00~13:00

(田上地区) 毎月第4土曜日 13:30~15:00

開催場所:

(大桑地区) 大桑町市営住宅集会所

(田上地区) 石川県留学生交流会館

連絡先: 金沢国際交流財団(KIEF) 076-220-2522 kief@kief.jp



【メモ欄】

市 営 住 宅 暮らしの作法



2017年10月 発行

発行: 金沢市

詳細問い合わせ先: 住宅政策課

住所: 〒920-8577 金沢市広坂1丁目1-1

電話: 076-220-2333 (※できれば日本語でお話しできる方をお願いしてお電話ください。)

メール: jyuutaku@city.kanazawa.lg.jp